

平成23年度

事業報告書

本事業報告書は、公益財団法人移行前、すなわち財団法人 国際科学振興財団としての事業報告書である。

公益財団法人 国際科学振興財団

<社会工学>

1. シクロデキトリンポロマーを用いた汚濁水からの環境汚染物質の除去に関する研究
筑波大学講師 野村 名可男
2. 硫黄を含む複素環化合物の合成、分解の研究
財団主席研究員 古川 尚道
財団研究員 古川 真
3. 形状記憶合金の開発と基礎研究
筑波大学教授 宮崎 修一
4. 超高圧力実験技術の高度化
筑波大学名誉教授 若槻 雅男

<情報科学>

1. ・移動通信用アンテナの研究
・SAR の簡易測定法の調査研究
防衛大学校助教 道下 尚文
2. ・広帯域ダイポールアンテナ、MIMO に関する研究
・阻止帯域を有する広帯域アンテナに関する研究
防衛大学校教授 森下 久
3. ・高速通信回線の研究
財団主席研究員 古川 尚道

<生命科学>

1. 脳神経外科疾患における分子生物学的研究—TSH 産生下垂体腺膜における遺伝子解析—
昭和大学教授 阿部 琢巳

2. ・地域医療における病院間連携の構築
 ・脊髄空洞症の発生機序の解明
 東京慈恵会医科大学教授 阿部 俊昭
3. Gタンパク質の作用機構と疾患—Gタンパク質共役受容体の新しい制御—
 東京大学講師 飯利 太朗
 財団研究員 橋本 真紀子
4. 免疫蛋白質の構造生物学的研究—受容体の構造を基にした認識機構に関する研究—
 熊本大学准教授 池水 信二
5. ・高脂血症と動脈硬化—動脈硬化惹起性リポ蛋白の代謝動態の解明—
 ・HDLの抗動脈硬化作用の検討
 ・酸化ステロールの測定系の確立と臨床的意義の検討
 防衛医科大学校教授 池脇 克則
 財団研究員 井上 弥絵
6. 外科学に関する研究—低侵襲手術の開発と教育—
 東京慈恵会医科大学教授 大木 隆生
7. 受精のしくみに関する研究—動物・植物を通じた受精の本質の概念的認識—
 大阪大学遺伝情報実験施設教授
 岡部 勝
8. 超高輝度X線発生装置製品化のための基礎研究
 財団主席研究員 坂部 知平
 財団研究員 坂部 貴和子
9. 集学的癌治療に関する研究
 —ゲノム情報に基づいた「がん」の定量的悪性度評価—
 山口大学教授 佐々木 功典
10. 新たな心理テストの開発—災害被害者の精神保健ケアについて—
 とよさと病院附属筑波社会精神医学研究所
 佐藤 親次
11. ・胆道癌の集学的治療に関する研究
 ・胆道癌感受性に関する研究
 銚子市立病院長 轟 健

- 1 2. ・脳虚血における脳血流量に関する研究
 ・脳神経外科領域における脳核医学検査についての研究
 中村記念病院診療本部長 中川原 譲 二
- 1 3. ・婦人科悪性腫瘍に関する研究
 ・妊孕性温存を目的とした子宮の保存的術式開発に関する研究
 霞ヶ浦病院長 西田 正 人
- 1 4. 分子生物学的発生工学的なアプローチでの生命調節系遺伝子の機能発現と制御
 —生活習慣病のエピゲノム応答ネットワークの解明—
 筑波大学教授 深水 昭 吉
- 1 5. バイオ人工肝臓の開発とその応用
 東京慈恵会医科大学准教授
 松浦 知 和
- 1 6. ヒト血管内皮細胞の増殖と機能制御に関する研究
 徳島文理大学教授 三井 洋 司
- 1 7. 循環器疾患に関する研究
 筑波大学教授 宮内 卓
- 1 8. 外科腫瘍学ならびに胎児外科に関する研究
 いわき明星大学教授 山崎 洋 次
- 1 9. 脳卒中に関する研究
 山口大学助教 米田 浩
- 2 0. 放射光利用技術に関する研究—放射光X線結晶構造解析によるタンパク質の
 細胞内輸送と翻訳後修飾—
 高エネルギー加速器研究機構教授
 若槻 壮 市
- 2 1. 浜名湖シンポジウムにおける、消化器分野の分子生物学的臨床研究の向上と、斯学
 の発展及び若手消化器研究者の育成に努める
 分子消化器病研究会
- 2 2. ・「こころ」が遺伝子ON/OFFに及ぼす影響に関する研究—医療従事者、癌およ
 び脳卒中患者に対する「笑い」を取り入れた介入療法の効果の研究—
 ・陽性感情で活性化される健康増進遺伝子の特定—快情動の発達と脳内ネットワー
 ク形成における分子生物学的研究（快情動を表出するモデル動物での検証）
 心と遺伝子研究会

財団主席研究員	村上 和雄
財団研究員	堀 美代
財団研究員	坂本 成子
東京家政大学准教授	大西 淳之

<国際会議>

1. 第66回日本消化器外科学会総会

第66回日本消化器外科学会総会